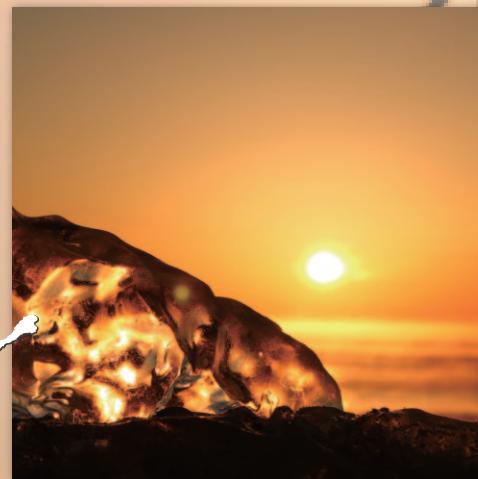


十勝管内事業概要

令和3年度

帯広
音更
士幌
上士幌
鹿追
新得
清水
芽室
中札内
更別
大樹
広尾
幕別
池田
豊頃
本別
足寄
陸別
浦幌



事業の推進方針

十勝地域は、北海道らしい雄大な景観が多くの観光客を呼び、地元で収穫される農水産物は安全・安心・美味しさを誇り、「食」や「観光」の強み・魅力を併せ持った資源豊富な地域です。また、インバウンド観光におけるポテンシャルも高く、ますます国内外の需要は高まっています。これまでに先人が培ってきた資源を活かし、また持続的に発展させるためには、農水産業の生産の場となる「生産空間」を維持し、市街地や観光の場、輸送拠点を効果的に結びつけた十勝圏域全体を見渡した社会資本整備が必要です。

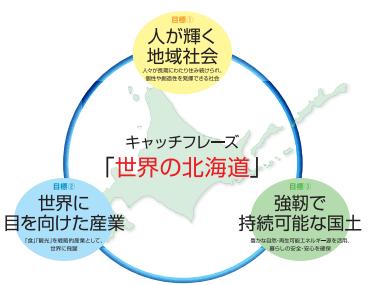
帯広開発建設部では、高速交通ネットワークの強化や管内の「道の駅」情報の発信などにより、観光客の広域的な移動・交流を促すことで地域の連携を深めるとともに、かわまちづくりやサイクリングなどを通して十勝の景観を楽しむ機会を提案するなど、観光振興を促進します。

また、近年激甚化・頻発化する自然災害、切迫する千島海溝型地震の発生などに備え、治水・道路・農業における防災・減災、国土強靭化の推進により災害に強い地域づくりを目指すとともに、大雨災害を想定した情報の配信や命を守るために訓練も地域と協働して行っています。

さらに、北海道開発局では「生産空間」に住み続けられるための施策を検討するためのモデル地域のひとつとして「十勝南地域」を選定し、農業の持続的発展や地域交通の利便性向上に取り組んでおり、今後、モデル地区以外の地域においても同様に取り組んでいきます。

社会資本整備に当たっては、第8期北海道総合開発計画に基づき、効率かつ効果的に各事業の推進を図り、災害に強い安全・安心な暮らしの確保と地域の健全な発展を支えていけるよう、十勝に住む皆様や訪れる方々とともに取り組んでいきます。

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—



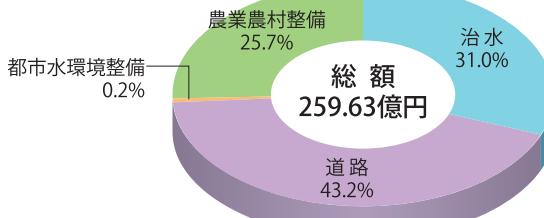
帯広開発建設部事業費総括表

事 項	事 業 費
治 水	8,040百万円
道 路	11,205百万円
都 市 水 環 境 整 備	50百万円
農 業 農 村 整 備	6,669百万円
計	259.63億円

※1. 農業農村整備を除き、工事諸費は含まれていません。

※2. 四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

●事項別構成比



※、四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

十勝をつなぐ「生産空間」を支える社会資本整備

～総合的な視野に立った社会資本整備によって、農業王国十勝の発展に寄与しています(小麦の例)～

十勝管内では約25.3万haの小麦が収穫され、全国シェアの約24%を誇ります。当管内で収穫された小麦のみならず、オホーツク管内で収穫された小麦の一部も整備された道路を通り、十勝港から本州へ輸送されます。

○農業農村整備

農地や排水路等の整備により生産の向上と安定に貢献



○道路整備

安全性と速達性を図ることで確実な輸送を実現



■ 例
高規格幹線道路
開通区間
事業区間
計画区間



○治水

大雨を安全に流下させることで農地を浸水から防護



○港湾整備

大型貨物船が安全に入港するための航路浚渫を実施



防災に関する地域支援

職員派遣による支援

TEC-FORCE (Technical Emergency Control Force)

近年激甚化する大規模な自然災害に際して、被災状況の把握や被災地の早期復旧のための技術的支援など、被災した地方自治体等の災害復旧を支援します。

令和2年7月豪雨災害では、北海道開発局から九州地方整備局管内へTEC-FORCEを派遣するなど、国土交通省が一丸となって被災地域の1日も早い復旧活動を支援しています。



被災状況調査(熊本県八代市)

リエゾン (Liaison)

リエゾンは国土交通省の「現地情報連絡員」の名称です。

大規模な災害が発生した場合、又は発生のおそれがある場合に地方自治体等に職員を派遣し、(1)災害情報や開発局への支援要望等の情報収集、(2)災害情報の提供、(3)災害対策用機械など、支援資機材等に関する連絡調整を行います。

帯広開発建設部では、平成28年8月の大震災時に、管内の9自治体に延べ70名の職員を派遣しました。



リエゾン活動状況(足寄町)

災害対策用機械による支援

災害時の緊急対応や情報通信手段の確保のための各種資機材を配備し、災害時には速やかに出動しています。

これらの資機材は地方自治体等の要請に基づき貸与することが可能です。平成28年8月の大震災では、管内市町村の支援として、足寄町の冠水のほか、帯広市、音更町、幕別町、池田町、豊頃町に排水ポンプ車及び照明車を出動させ、夜を徹して排水作業に当たりました。平成30年9月の北海道胆振東部地震においても厚真町、安平町、日高町の断水対応として給水活動を行いました。

災害時に迅速かつ的確な運用ができるよう、排水ポンプ車を中心とする各種災害対策用機械の運転操作訓練を管内自治体等や建設業協会を対象とした公開訓練を含め、毎年行っています。

このほか、小学校の授業の一環となる防災意識の向上を目的とした1日防災学校に参加し、災害対策用機械の展示や支援活動について説明を行っています。



1日防災学校での機械展示
(上更別小学校)

区分	名称	規格	保有台数
情報系	対策本部車	拡幅型	1
	衛星通信車		1
	衛星通信装置(Ku-SAT)	車載局 映像1回線電話8回線	1
	公共用プロードバンド	可搬局 映像1回線電話1回線	1
	5GHz帯無線アクセスシステム	データ通信	1
	I-RAS	データ通信(対向式)	1
作業系	散水車	給水装置付	1
	排水ポンプ車	30m/min級 60m/min級 30m/min級、高揚程 半汲水式	3 1 1 1
	ポンプ自操装置		1
	排水ポンプ設置支援ユニット		1
	照明車	ポール式 2ポール式	2 1
	土のう造成機	360袋/h	1
支援系	待機支援車	小型4床式	1

治水事業

事業の概要

十勝川は、その源を大雪山系の十勝岳に発し、山間峡谷を流れ、十勝平野に入り、広大な畑作地帯を流下しながら、人口・資産が集積し、流域最大の市街地である帯広市に入ります。その後、急勾配である音更川及び札内川、利別川等を合わせ、低平地に広がる畑作地帯を流下し、豊頃町において太平洋に注ぐ、幹線流路延長156km(全国17位)、流域面積9,010km²(全国6位)の一級河川です。

十勝川流域は、大雪山国立公園をはじめとして、針葉樹林や針広混合林、湿原群落等の植物相が形成され、河川は、サケの遡上やシシャモの産卵といった魚類の繁殖の場となっています。

十勝川水系では、「強靭で持続可能な国土」の形成を目指し、流域で暮らす人々の安全・安心を確保するとともに、農林水産業・観光等を担う「生産空間」を支えるため、多様な動植物が生息・生育する自然との調和を図りつつ、以下の各事業を推進します。

また、気候変動の影響により激甚化・頻発化する災害に対応するため、あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」の推進、「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」を重点的、かつ集中的に対策を講じ、強靭な国土づくりに取り組みます。



"気象"×"水害・土砂災害"



川へ行こう！ 川を楽しもう！

かわたび
ほっかいどう

KAWATABI HOKKAIDO



かわたび十勝川【夏編】

北海道総合開発計画のもと、川の自然環境や景観、水辺の活動、サイクリング環境等、川に関する情報を発信とともに、地域と連携して、魅力的な水辺空間の創出、水辺利活用を促進し、北海道らしい地域づくり・観光振興に貢献する「かわたびほっかいどう」プロジェクトを推進しています。



河川事業

十勝川流域では、「十勝川水系河川整備計画」に基づき、洪水を安全に流下させることができるよう、堤防等の整備や河道の掘削、堤防強化対策、侵食対策などの治水対策を計画的に進めています。

また、堤防や樋門などの河川管理施設の機能を保持するため、堤防の除草や点検、樋門の整備などの維持管理を行うとともに、防災インフラの管理の効率化・高度化と予防保全(老朽化対策)を行っていきます。

砂防事業・大規模土砂災害への取組

戸蒿別川では、洪水における土砂流出による災害を未然に防止するため、土砂流出の抑制・調節を図る砂防堰堤及び床固工群の整備を行っており、今年度も整備を推進します。

大規模土砂災害への取組として、河道閉塞や雌阿寒岳、十勝岳の火山噴火に起因する土砂災害への危機管理対策や、地域への災害情報の周知、避難支援に関する対応の充実を図ります。

ダム事業

十勝川上流の十勝ダムは、洪水調節と発電を目的として、昭和59年に完成した多目的ダムです。また、札内川上流の札内川ダムは、洪水調節と水道・農業用水の供給及び発電等を目的として、平成10年に完成した多目的ダムです。

治水・利水機能を確保するためのダム管理に必要な施設の点検整備、観測・操作、流木処理などをを行い、管理の充実を行っています。



十勝ダムの施設概要

高さ	84.3m
長さ	443m
体積	3,715,000m ³
総貯水容量	112,000,000m ³
貯水面積	4.2km ²
ダムの集水面積	59.2km ²
ダム形式	中央コア型ロックフィルダム



札内川ダムの施設概要

高さ	114m
長さ	300m
体積	770,000m ³
総貯水容量	54,000,000m ³
貯水面積	1.7km ²
ダムの集水面積	117.7km ²
ダム形式	重力式コンクリートダム

令和3年度 治水事業の概要

事業別	地区別等	事務所等	事業の概要	
河川 整備事業	河川改修	十勝川上流・音更川、札内川等	築堤、侵食対策等	
		十勝川下流・利別川等	河道掘削、堤防強化等	
	河川維持修繕	十勝川水系	堤防管理、水閘門等維持管理、樹木伐採、河川巡視、施設点検等	
	河川工作物関連 応急対策	十勝川水系	水閘門等の応急対策等	
	堰堤維持	十勝ダム	帯広河川事務所 十勝ダム管理支所	施設点検・補修、設備更新等
		札内川ダム		
砂防事業	砂防事業	十勝川水系(戸蒿別川)	帯広河川事務所 砂防堰堤等	

戸蒿別川2号砂防堰堤(平成30年度本体完成)



都市水環境整備事業

十勝川流域では、良好な河川環境、景観を保全するための取組を行っています。

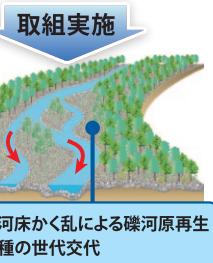
特に札内川は、近年、河道内の樹林化が著しく、かつて河道内で広く見られた礫河原(れきがわら)が急速に減少しており、氷河期の遺存種であるケショウヤナギの生育環境の衰退が懸念されています。一方、渡り鳥の繁殖地である礫河原は、十勝川水系の河川性鳥類の生息地としても重要なものとなっています。

このため、ケショウヤナギの生育環境の保全に加え、札内川特有の河川環境・景観を保全するため、流路変動などの河川のかく乱を復活させる取組を行い、礫河原の再生や川の更新環境の回復を図ります。

また、十勝川流域では、良好なまちと水辺が融合した空間形成の推進を目的に、「かわまちづくり支援制度」を活用し、観光客等の利便性向上や地域の観光の促進を図り、地域活性化を目指します。

令和3年度 都市水環境整備事業の概要

事業区分等	地区別等	事務所等	事業の概要
総合水系環境整備事業	十勝川水系札内川	帯広河川事務所	自然再生
	十勝川水系十勝川	帯広河川事務所	水辺整備(かわまち)帯広市
	十勝川水系十勝川	帯広河川事務所、池田河川事務所	水辺整備(かわまち)音更町、池田町、幕別町



道路事業

事業の概要

帶広開発建設部では、十勝管内における高規格幹線道路や一般国道8路線の整備・維持・管理を行っています。

第8期北海道総合開発計画を踏まえ、「食料供給基地としての持続的発展」、「『観光先進国』実現をリードする世界水準の観光地の形成」及び、「強靭な国土づくりと安全・安心な社会基盤の形成」等の主要施策を推進することとしており、特に北海道の強みである「食」や「観光」に関連する分野での十勝における成長と競争力の強化、地域社会に活力をもたらす「生産空間」・「基礎圈域」の保持・形成を図るための基盤整備、施策を推進します。

食料供給基地としての持続的発展

●広域分散型の地域構造を支える道路ネットワークの形成

北海道内外の人流や物流の拡大、地域・拠点間の連携を確保するため、高規格幹線道路等のネットワークの構築を推進します。

●「生産空間」の生活を支える「道の駅」の活用・充実

インバウンド受入環境や防災拠点施設、子育て応援施設など、あらゆる世代が活躍する地域拠点としての「道の駅」の機能を強化し、官民の力を合わせて更なる地方創生を推進します。

「観光先進国」実現をリードする世界水準の観光地の形成

●「シニックバイウェイ北海道」の推進

ドライブ観光を推進する「シニックバイウェイ北海道」において、地域の魅力ある道路景観が観光目的となるよう、ドライブ観光への情報発信・誘導、景観の重点的保全を行うなど、地域と協働した取組を推進します。

●サイクリルツーリズムの推進「トカチ400」

世界水準のサイクリング環境を構築してサイクリルツーリズムを推進するため、地域や道路管理者等が連携し、安全で快適な自転車走行環境の創出、サイクリストの受入環境の改善及び情報発信等の取組を推進します。

この度、トカチ400がナショナルサイクルルートの候補ルートに選定され（令和3年1月29日発表）、第3者委員会による審査が行われます。

強靭な国土づくりと安全・安心な社会基盤の形成

●防災・減災・国土強靭化のための5か年加速化対策

近年、気候変動の影響により、気象災害は激甚化・頻発化するとともに、大規模地震の発生も切迫しています。また高度成長期以降に集中的に整備されたインフラの老朽化が今後加速度的に進行し、適切に対応する必要があるため、「防災・減災・国土強靭化のための5か年加速化対策」を推進します。

●強靭なネットワーク整備の加速化・深化

強靭なネットワーク整備の加速化・深化を図るため、高規格道路の整備を促進します。また、一般国道の強化等として、道路の法面・盛土の土砂災害防止対策や渡河部の橋梁や河川に隣接する道路構造物の洗掘・流出防止対策等を推進します。

●無電柱化の推進

安全で快適な歩行空間の確保、良好な景観の形成に向けたまちづくり支援に加え、電柱倒壊による道路閉塞のリスクがある市街地等の緊急輸送道路において、被害を防止する無電柱化を実施します。

●道路施設の老朽化対策・耐震補強対策

定期点検等により確認された修繕が必要な橋梁・トンネル・道路付属物・舗装等の対策を集中的に実施するとともに、地方自治体における老朽化対策への技術的支援等を実施します。また地震による被害を最小限に抑えるため、耐震補強対策を実施します。

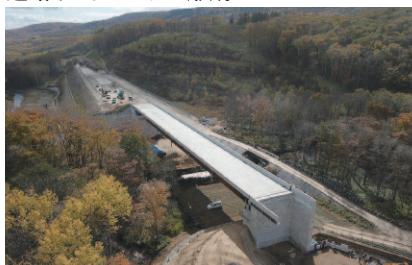
●安全な道路交通の確保と災害発生時におけるきめ細やかな地域支援

安全で円滑な道路交通の確保を図るために、気象や交通状況を踏まえた効果的な維持管理、除雪作業を実施します。また、災害発生時においては関係機関と連携強化を図り、自治体への災害対策用資機材の貸与、TEC-FORCEやリエゾンの派遣、重大な災害発生時における緊急調査、分かりやすい防災情報提供等、地域支援を実施します。

●交通安全対策の推進

交通事故データ、地域の声やピックデータを活用した分析により、事故の危険性が高い区間を抽出して重点的な対策を実施する事故ゼロプランを推進します。

道路ネットワークの形成



北海道横断自動車道の整備
(足寄一北見、陸別一陸別小利別間)

冬期交通の安全確保



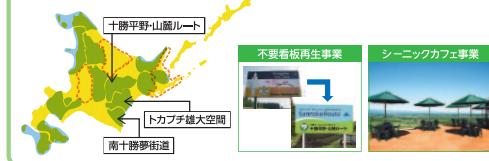
国道241号における除雪作業状況

世界水準の観光地の形成

シニックバイウェイ北海道

みちをきっかけに地域、企業、行政等が連携し、景観をはじめとした地域資源の保全・改善の取り組みを進めることにより、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを図る「シニックバイウェイ北海道」を平成17年度より開始しています。十勝管内では3つのルートが活動しています。

十勝シニックバイウェイと主な活動内容



●「トカチ400」がナショナルサイクルルートの候補ルートに選定

ナショナルサイクルルート制度は、優れた観光資源を走行環境や休憩・宿泊機能、情報発信など様々な取組を連携させたサイクリルツーリズムの推進により、日本における新たな観光価値を創造し、地域の創生を図るため、ソフト・ハード両面から一定の水準を満たすルートを国が指定することで、日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルートとして国内外にPRを行い、サイクリルツーリズムを強力に推進していくものです。

この度、トカチ400が候補ルートに選定され、(令和3年1月29日発表)第3者委員会による審査が行われます。



「道の駅」の活用・充実



マンホールトイレを整備し防災拠点としての機能を強化

サイクリルツーリズム推進



路面表示等の走行環境の整備・改善を推進

道路の異常を発見したら…



24時間受付中

道路緊急ダイヤル

#9910
(全国共通番号)

通行止情報メール配信サービス

<http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/>



- 通行止め区間の路線名、場所、日時、原因などをお知らせします。
- 通行止めの実施時と解除時にメールを配信します。

令和3年度 道路事業の概要

広域分散型の地域構造を支える道路ネットワークの形成

路線・地区名	主要事業
E61 北海道横断自動車道網走線 E60 帯広・広尾自動車道 (国道236号)	足寄～北見 大樹広尾道路 (忠類大樹～豊似)

道路施設の老朽化対策

国道38号ほか	橋梁補修、トンネル補修ほか
---------	---------------

防災対策・震災対策

国道236号 国道38号ほか	野塚防災 法面对策、橋梁耐震補強ほか
-------------------	-----------------------

交通安全対策

国道241号 国道38・241号 国道241号	音更大通事故対策 (電線共同溝含む) 国道38号・241号交差点改良 下音更北9号交差点改良
-------------------------------	---

農業農村整備事業

事業の概要

十勝管内の農業は、明治16年の民間開拓移民団の入植以降、寒冷な気象条件の中、近代技術の導入や主に排水改良の土地基盤整備を進め、現在では、約24万haという恵まれた土地資源(耕地)を活かした大規模な畑作・酪農地帯となっています。

一方で、経営規模の拡大に伴う労働力不足や近年の降雨量の増加に伴う湛水被害、干ばつによる生育不足、施設の適切な保全や更新を行い機能を確保していくことなどの課題があります。これらの課題に対応するため農業農村整備事業を行い地域農業の振興を図っています。

国営かんがい排水事業

農地に水を導きその土地を潤す「かんがい」や大雨時の表面水及び湿地の地下水など農地の余分な水を排除する「排水」を行う事業です。

この事業によって、農業用施設の新設や改修を行い、作物の生育しやすい状態に農地の水分をコントロールすることで作物の収量は上がり、質の良い食料を安定生産することができます。

●芽室川西地区

地区概要:小麦・てんさい・ばれいしょ・豆類等の畑作物を主体に、ながいも・スイートコーン等の野菜類を組み合わせた農業経営が展開されています。

事業内容:農業用水の安定供給と施設の維持管理の軽減を図るため、美生ダム(芽室町)の管理施設の改修や用水路の新設を行います。



用水の安定供給に向けて管の布設作業(芽室川西地区 帯広市)

●新川二期地区

地区概要:小麦・豆類・てんさい等の畑作物を主体に、キャベツ・にんじん等の野菜類を組み合わせた農業経営が展開されています。

事業内容:排水機能の安定的な確保と施設の維持管理の軽減を図るため、老朽化している上 線内排水機場及び排水路の改修を行います。



工事が完了した排水路(上士幌北地区 上士幌町)

●上士幌北地区

地区概要:小麦・豆類・てんさい等の畑作物を主体とした栽培のほか、酪農・畜産の大規模経営が展開されています。

事業内容:農地の湛水被害による作物生産及び作業効率の低下を防ぐため、排水路の整備を行います。

●富秋士幌川下流地区

地区概要:小麦・てんさい・ばれいしょ・豆類・スイートコーン・にんじんを中心とした自然と 土地資源を活かした農業経営が展開されています。

事業内容:農地の湛水及び湿潤被害による作物生産や作業効率の低下を防ぐため、排水路の整備を行います。



工事が完了した排水路(富秋士幌川下流地区 音更町)

調査計画地区

●十勝川左岸二期地区

地区内では近年の営農状況の変化に伴い用水利用に変化が生じているほか、現況の排水施設では排水能力不足により周辺農地で湛水被害が発生しています。

また、用排水施設では老朽化等により、維持管理に苦慮しています。このため、農業生産性の向上や農業経営の安定を図るために、事業の実施に向けた調査計画を進めます。

● 笹川地区

地区内の排水施設は、基幹的な排水施設が未整備な状況にあり、近年は降雨形態の変化に伴う流出量の増加により、排水能力が不足し、農地に湛水被害が発生しています。

このため、基幹的な排水施設を新設することにより、排水能力を確保し、湛水被害の解消を図るために、事業の実施に向けた調査計画を進めます。

●新更別地区

地区内の排水施設は、基幹的な排水施設が未整備な状況にあり、近年は降雨形態の変化に伴う流出量の増加により、排水能力が不足し、農地に湛水被害が発生しています。

このため、基幹的な排水施設を新設することにより、排水能力を確保し、湛水被害の解消を図るために、事業の実施に向けた調査計画を進めます。

●清川二期地区

地区内の排水施設は、近年の降雨形態の変化に伴う流出量の増加により、排水路の流下断面が不足しており、周辺農地において湛水被害が発生しています。

このため、基幹的な排水施設を整備することにより排水能力を確保し、湛水被害の解消を図るために、事業の実施に向けた調査計画を進めます。

●令和3年度 農業農村整備事業の概要

1.実施地区

事業種別	地区名	事務所等	関係市町村名	受益面積	事業の概要
国営かんがい排水	芽室川西	帯広農業事務所	帯広市、芽室町	20,623ha	ダム(改修)1箇所 用水路27条
	新川二期	帯広農業事務所	豊頃町、幕別町	1,625ha	排水機場1箇所 排水路3条
	上士幌北	鹿追地域農業開発事業所	士幌町、上士幌町、足寄町	2,574ha	排水路4条
	富秋士幌川下流	鹿追地域農業開発事業所	士幌町、音更町	2,283ha	排水路5条
	札内川	帯広農業事務所	帯広市、中札内村、更別村、幕別町	19,570ha	用水路1条

2.調査計画地区

事業種別	地区名	事務所等	関係市町村名	受益面積	事業の概要
国営かんがい排水	十勝川左岸二期	農業計画課	音更町、清水町、芽室町	6,070ha	ダム(改修)1箇所 用水路26条、排水路2条
	笹川	農業計画課	鹿追町	750ha	排水路1条
	新更別	農業計画課	更別村	2,900ha	排水路2条
	清川二期	農業計画課	帯広市	2,590ha	排水路5条

管内の概況

位置・気候

十勝管内は、北海道の東南部北緯42°09'～43°38'、東経142°40'～144°02'に位置し、北に大雪山系、西に日高山脈が連なる太平洋側に拓けた広大な農業地帯です。中央部を貫流する十勝川は、大雪山系十勝岳を源として太平洋に注いでいます。

十勝地方の気候は、太平洋岸を除き大陸性気候で、帯広市の年間の平均気温は7.2°Cです。降水量は約920mmと道内主要都市の中でも少なく、日照時間は年間約2,020時間と恵まれており全国的にも晴天率の高い地域です。

事項	月	気象数值													
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年	
帯 広	气温 (℃)	最 低	-13.0	-12.0	-5.4	0.8	6.2	10.8	15.1	16.5	12.7	5.3	-1.1	-8.9	2.3
	最 高	-1.5	-0.2	4.8	12.2	18.2	21.3	24.3	25.4	22.0	15.9	8.4	1.0	12.7	
	平 均	-6.9	-5.7	-0.4	6.0	11.6	15.2	18.9	20.3	16.9	10.3	3.5	-3.8	7.2	
	降 水 量 (mm)	40.5	28.8	43.8	60.1	84.7	81.1	107.1	141.3	140.2	85.7	54.2	52.3	919.8	
	日 照 時 間 (h)	188.2	191.5	217.9	192.9	188.8	148.2	121.9	125.2	137.8	167.6	168.2	172.0	2,020.2	
	札幌平均気温 (℃)	-3.2	-2.7	1.1	7.3	13.0	17.0	21.1	22.3	18.6	12.1	5.2	-1.0	9.2	
	東京平均気温 (℃)	6.1	6.7	9.8	14.8	19.3	22.4	26.3	27.6	24.1	18.8	13.5	8.6	16.5	

※緯度経度・気候は十勝総合振興局管内概要と(令和2年)十勝総合振興局

※気象は平成3年～令和2年(1991～2020)の30か年平均(気象庁ホームページから帯広開発建設部作成)

面積・人口・土地利用

十勝管内は、1市16町2村で構成され、総面積は10,831.62km²と全道の約13%を占めており、振興局ごとの面積では第1位となります。また、全国との比較では都道府県面積で第6位の秋田県と第7位の岐阜県の間に位置します。

総人口は、336,986人で、うち地域経済の中心である帯広市に人口の約49%の166,043人が集中しています。

土地の利用面積は、山林が3,786km²(35.0%)と最も広く、次に畑の2,417km²(22.3%)、牧場の288km²(2.7%)と続き、田は21km²(0.2%)とわずかです。

※面積は令和2年全国都道府県市区町村別面積調(10月1日時点)(国土地理院)

なお、然別湖は水面が境界未定のため、上士幌町及び鹿追町の面積に含まれない(十勝全体の面積に含まれる)

※人口は令和2年1月1日現在の住民基本台帳人口

※土地利用は第127回(令和2年)北海道統計書(北海道総合政策部)

産業

農業

十勝農業は、経営耕地総面積約24万haという広大な土地を背景に、我が国における代表的な畑作酪農地帯を形成し、食料供給基地として国民の期待を担っており、かつ、十勝の基幹産業となっています。

十勝農業の全道に占めるシェアは、販売農家数14.6%、耕地面積22.4%となっています。また、一戸当たりの耕地面積は43.4ha(全道平均27.6ha)、專業農家率は82.3%(全道平均69.8%)と大規模な專業農業地帯となっています。

平成30年の農業産出額は、3,073億円となっています。

※2015年農林業センサス(農林水産省)、平成30年市町村別農業産出額(推計)(農林水産省)

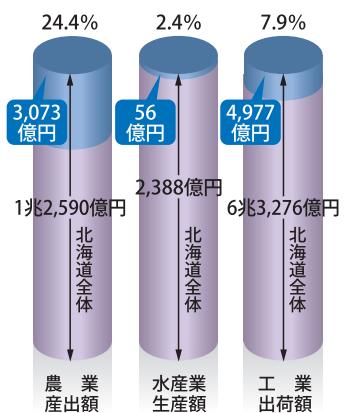
●十勝の全道に占める面積と人口の割合



●十勝の土地利用構成比(全道シェア)



●十勝の産業別全道シェア



林業

十勝管内の森林面積は、およそ690千haで全道森林面積の12.5%を占めており、上川、オホーツク管内に次ぐ主要な森林地帯を形成しています。また、十勝の土地総面積に対する森林面積の割合は63.7%を占めています。森林の所有者別では、国有林が60.2%、民有林は39.8%となっています。

恵まれた森林資源を背景に林業は管内の主要な産業のひとつとなっており、地域の木を地域で利用し消費する「地材地消」の取組を進め、森林資源の循環利用を促進しています。

平成30年度の伐採材積は、1,136千m³となっています。

※平成30年度北海道林業統計(北海道水産林務部)

水産業

十勝管内の漁業は、寒流と暖流が接した好漁場の道東太平洋におけるサケ、スケトウダラ、シシャモ、タコ、ツブ、コンブ等を中心とした沿岸・沖合漁業です。

拠点となる漁港には、広尾町の十勝港(漁港区)・音調津漁港、大樹町の旭浜漁港・大樹漁港、豊頃町の大津漁港及び浦幌町の厚内漁港があります。各漁港で整備事業が進められており、今後の発展が期待されています。

令和元年の生産高は6万t、生産額は56億円となっています。

※令和元年北海道水産現勢(北海道水産林務部)

工業

十勝管内の工業は、食料品製造業、木材・木製品製造業(家具を除く)など、第一次産業に深く結びついた地場資源型工業のほか、電子部品・デバイス・電子回路製造業が主体となっています。

平成30年の年間製造品出荷額は、4,977億円となっています。

※2019年工業統計調査(経済産業省)、2019年工業統計確報(北海道総合政策部)

管内市町村の概要

■地名の由来…「」内はアイヌ語



●面積 / 619.34km² ●人口 / 166,043人

十勝圏の中核都市として豊かな自然環境と快適な都市機能が調和する田園都市。また「食と農林漁業」を柱とした地域産業政策「フード・パーとから」を十勝全体で推進している。R2に日本で初めて大学構内に酒蔵「碧雲閣」が開設。世界で唯一の「ばんえい競馬」開催や「お菓子のまち」、澄んだ空気と気候によって金属類にさびが付きにくい「さびにくまいまち」としても有名。

■地名の由来/「オベレベケレバ」(川口がいくつにも分かれている川の意)から転訛。

■観光名所/八千代牧場、岩内仙峠、幸福・愛國駅、ばんえい競馬、緑ヶ丘公園、北の屋台、紫竹ガーデン、真鍋庭園、おひる動物園など。



●面積 / 466.02km² ●人口 / 44,342人

日本有数の生産量を誇る小麦や豆類などを育む肥沃で広大な耕地と、美しい自然に恵まれた緑豊かなまち。北海道遺産に選定された「モール(植物性)温泉」で知られる「十勝川温泉」などがある。長流枝地区に道東道のスマートICが新設予定。R4に道東道音更町IC付近に道の駅「とおふけ」が移転予定。また、全道町村で最も人口が多い「全道一の町」である。

■地名の由来/「オトブケ」(毛髪が生ずるという意味)から転訛。

■観光名所/十勝が丘公園(花時計「ハナック」)、十勝が丘展望台(シニックカワフェ)、十勝牧場展望台、白樺並木、道立十勝エコロジーパーク、十勝川温泉、柳月スキー場アガーデンなど。



●面積 / 259.19km² ●人口 / 6,044人

畑作、酪農、畜産などが盛んで、面積約60%が農用地という全国有数の農業のまち。特にじゅがいもの加工施設は国内有数で、生産者還元用の限定商品であるボテチップスが有名。高校生と地元企業が共同で地場産品を使った商品開発を行い、道の駅の人気商品になっている。また、高校では様々な農産物の認証取得を目指しており、生徒が農業生産や地域活動において活躍している。

■地名の由来/「シユウオロ」(広大な土地の意)から転訛。

■観光名所/道の駅アリバ21しょろ、モモ温泉かけ流しの道の駅しほろ温泉、雲海や星空が美しい士幌高原ヌカラの里など。



●面積 / 694.23km² ●人口 / 4,959人

大雪山国立公園内の糠平湖を取り囲む森林と山岳美、日本一広い公共牧場であるナイヤガラ高原牧場に加え、熱気球の町としても有名なまち。移住定住を推進し、ふるさと納税を活用した子育て支援に取り組んでいる。また、バイオガス発電によるエネルギーの地元産消すがSDGs表彰を受けた。旧国鉄士幌線のタッシュベツ川橋梁は北海道遺産であり季節によって姿を変える幻の橋として人気。

■地名の由来/

士幌町から分村の際、士幌川の上流に位置することから名付けられた。

■観光名所/道の駅かみしほろ、ナイヤガラ高原牧場、三国峠、糠平湖、源泉かけ流しのぬかびら源泉郷、旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群(北海道遺産)、ひがし大雪自然館など。



●面積 / 402.88km² ●人口 / 5,331人

道内で最も標高が高く幻想的な然別湖を有し、「とかち鹿追ジオパーク」は他に見られない「凍れ(しばれ)」という特徴を持つ。また、国内最大規模となる2基の資源循環型バイオマスプラントが稼働しており、余熱を活用してマンゴー栽培、チョウザメ養殖事業等を行っている。家畜・牛や生ごみを再生エネルギーとして活用する工場のまち。道の駅「うりまく」では乗馬が楽しめる。

■地名の由来/「クテカウシ(シカ捕り柵のあるところの意)の和訛から。

■観光名所/然別湖、神田日勝記念美術館、鹿追町ライディングパークなど。



●面積 / 1,063.83km² ●人口 / 6,044人

農業・林業を主産業とするまちで、町立女性専用農業体験実習施設レディースファームがある。特産品は質良なそばの生産地ならではの新得そばをはじめ、ナチュラルチーズ、鹿肉、新得地鶏、そば焼酎など、狩勝高原を中心に、乗馬、スキー、ラфтティング等を楽しめるリゾート地でもある。手話の理解を広めるため、町村では全國初の手話に関する基本条例」を施行した福祉のまち。

■地名の由来/「シックト・ナイ(山の肩・端)、シントコ(酒造りの漆器)から転訛。

■観光名所/狩勝峠、トムラウシ温泉、くったり温泉、サホロリゾート、ペア・マウンテン、クラブミッド北海道サホロ、そばロードなど。



●面積 / 402.25km² ●人口 / 9,370人

日勝峠の東側に位置するまちで、「日勝峠展望台」などの眺めの良い場所が多く存在する。地元産のブランド牛と地元産鶏卵を使用した当地グルメ「十勝牛玉ステーキ丼」が人気。また、第6次産業化にも力を入れており、有機肥料で育てた地元産ににくく使用し、町内で加工した「黒ににく」が有名。

■地名の由来/「ペケレベツ」(きれいな川の意)の和訛から。

■観光名所/清水公園(展望パーカーGolf場)、日勝峠展望台、清水円山展望台、美蔓バノラマパーク、十勝千年の森など。



●面積 / 513.76km² ●人口 / 18,468人

スイートコーンの作付面積・生産量ともに日本一のまちで、十勝芽室コーン炒飯がご当地グルメ。近年落花生の生産も盛んで、落花生の産地化を目指している。ゲートボール発祥の地。また、芽室サイクリングマップでは地元ガイドと共に巡る散歩が行われている。新嵐山では再整備が進められており、敷地内にはワイナリーが建設され、町内産ドウの「ワイン醸造などに取り組んでいる。

■地名の由来/「メム・オロベツ」(わき水のところの川の意)から転訛。

■観光名所/新嵐山スカイパーク、芽室公園、花菖蒲園、みのりむなど。

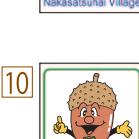


●面積 / 292.58km² ●人口 / 3,917人

日高山脈中央部を源とする清流「札内川」流域に広がる、「花と緑とアートのまち」。グランピング施設やドッグ休暇村スタイルの長期滞在型コテージが整備され、美しい農村景観と美術館などの見どころや、枝豆や卵などの農畜産物を求める多くの観光客が訪れている。「日本で最も美しい村」連合に加盟している。

■地名の由来/「サナナイ」(乾いた川の意)から札内川の中流に位置するので「中」を冠した。

■観光名所/道の駅のなかさつない、ヒュウタンの滝(札内川園地)、札内内美術村(小泉淳作美術館、相原求一朗美術館)、六花の森、花畠牧場など。



●面積 / 176.90km² ●人口 / 3,157人

農家1戸当たりの経営面積、トラクター所有台数が国内最大級。道内初のキャリア5Gの基地局が整備された村で、スマート農業先進地。村内にあるどんぐり公園すらもの里は約3haの広大な敷地に1,000本を超えるすももの木が春の訪れを告げる。農畜産物すらも加工品が人気。

■地名の由来/

「サラ・ベツ」(葦・茅の生い繁るところの意)に更別の漢字を当てたもの。

■観光名所/さらべつカントリーパーク、どんぐり公園、十勝スピードウェイなど。

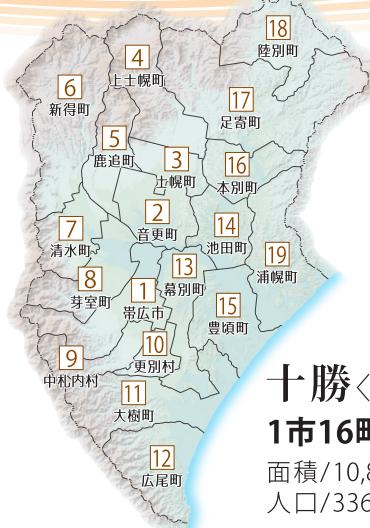


●面積 / 815.68km² ●人口 / 5,526人

民間企業単独で開発・製造したロケットが町内のロケット射場から打ち上げられ、国内初となる高度100kmの宇宙空間到達が成功したまちとして有名。R3に町・民間共同による運営会社が設立され、「北海道スペースポート」を着工予定。過去何度も日本一の清流に選ばれている「歴舟川」では、砂金堀体験やカヌー下りを楽しめる。

■地名の由来/「タイキウシ」(森林が繁茂するところの意)から転訛。

■観光名所/晚成温泉、カムイコタン、坂下仙峠、ホロカヤントー周辺など。



十勝くとかち

1市16町2村

面積/10,831.62km²
人口/336,986人



●面積 / 596.54km² ●人口 / 6,669人

十勝の海の玄関である重要港湾「十勝港」とともに発展してきた。ノルウェーオスロ市から、国内唯一の「サンタランド」として認定されている。国道336号沿いには、道路脇を直接流れ落ちる「灌への滝」がある。しゃもやカニをはじめとする豊富な海産物と農産物が楽しめる町。フンベ海岸は、サーファー間で人気の日本屈指のサーフスポット。

■地名の由来/「ブレイ」(ビは石が転がる、レイは砥石がとれる地の意)から転訛。

■観光名所/ジーサイドパーク広尾、大丸山森林公園(ひろおサンタランド)、フンベの滝、黄金道路、天馬街道など。



●面積 / 477.64km² ●人口 / 26,636人

「パークゴルフ」発祥の地。ナウマン象の化石骨が発掘された地としても知られている。町内各地の小高い丘に「ジニーニックカフェちゅうるい」「明野ヶ丘公園」展望台タワー、「丸山展望台」等が整備され十勝平原の雄大な景色を見ることができる。また、多くのオリエンピック選手を輩出している「オリエンピアンのまち」としてスポーツを通じて交流するまちづくりを進めている。

■地名の由来/「マクンペツ」(山の方にある川の意)から転訛。

■観光名所/ピラ・リ(明野ヶ丘公園)、十勝ビルズ、忠類ナウマン象記念館、ナウマン公園、丸山展望台白銀銀行スキー場など。



●面積 / 371.79km² ●人口 / 6,619人

全国初の自治体ワイン「十勝ワイン」を製造し、ワインシリーズの先駆けとなって生まれた「池田ワイン城」がリニューアルされ、製造工程の見学エアリアを増やし、物販スペースが拡充された。また、地域独自のワイン用ブドウ「山幸」が国際品種に登録された。町内で肥育から加工処理までが行われる「いけだ牛」が人気。

■地名の由来/「池田侯爵が開設した池田農園の名称をとり池田とした。

■観光名所/ワイン城、十勝まきばの家、千代田堰堤、DCTgardenKEDAなど。



●面積 / 536.71km² ●人口 / 3,145人

十勝川の最下流に位置する十勝発祥の地。樹齢約150年の「はるにれ」がまちのシンボル。1月中旬から2月下旬に大津海岸で見られる「ジュエリーアイス」は近年人気高く、R2年12月には観光拠点となる「ジュエリーハウス」が完成した。道内唯一全国報徳研究市町村協議会に加盟しており、全国16市町村と連携しながら、二宮尊徳(今朝郎)の「報徳のおしえ」を継承し互恵事業を行っている。

■地名の由来/「トエ・コロ」(大きなふきの意)から転訛など諸説あり。

■観光名所/はるにれの木、とよころ物産直売所、長節湖、湧洞沼、茂岩山自然公園など。



●面積 / 391.91km² ●人口 / 6,899人

本別生まれの「光黒大豆」を使った加工品のブランド「キレイマメ」を全国へ発信する豆のまち。毎年9月には最大のイベント「きらめきタウンフェスティバル」が、1ヶ月下旬には節分をテーマに2つの豆が散かる「豆まかナイト」が開催されている。市街地近くには高速道路のIC、JCTがあり、道東の交通の要所となっている。足寄町、陸別町と三ツ町会商を立ち上げ道の駅の連携強化を行っている。

■地名の由来/「ボン・ベツ」(小さな川の意)から転訛。

■観光名所/本別公園(義経の館、ボート、ゴーカート、キャンプ場など)、幽仙狭、歴史民俗資料館、古ふるさと銀河線跨線橋など。



●面積 / 1,408.04km² ●人口 / 6,787人

林業と農畜産物を主産業とする、放牧酪農推進のまち。町内に自生する、栄養豊富な川の水によって高さ2~3mになる巨大なフキ「螺旋(わらん)フキ」は、北海道遺産に登録されている。道の駅「あしきる銀河ホール21」は平成29年度に国土交通省からモデル「道の駅」(地域交通拠点部門)に認定され、地域の公共交通の拠点として活用されている。敷地内では町民や観光客の足型を探取し、町内に敷設している。

■地名の由来/「エショ・ヘッ」(沿って下る川の意)から転訛。

■観光名所/オネットー、湯の滝、足寄動物化石博物館、白藤の滝、雌阿寒温泉、芽登温泉など。



●面積 / 608.90km² ●人口 / 2,362人

酪農と林業が基幹産業で、夏と冬の寒暖の差が70度にもなる日本一寒い「しばれ」のまち。寒さを体感するイベント「ぱれエスティバル」は全国的に有名。「星空にやさしい街10選」に認定されており、星とオーロラが観測できる。また、「りくべつ鉄道」の運転体験が人気で全国から鉄道ファンや家族連れなどが多く訪れる、コースの新設も計画されている。

■地名の由来/「リク・バッ」(高いところにある川の意)から転訛。

■観光名所/銀河の森天文台、ふるさと銀河線くべつ鉄道、関寬賀資料館、陸別サーキットなど。



●面積 / 729.85km² ●人口 / 4,615人

十勝最東端に位置し、町の面積の約74%を森林が占めている林業と畜産のまち。海岸線には自然の花畠である「豊北原生花園」や広大な太平洋を見下ろせる「昆布刈石海岸」などもあり、自然豊かなまち。「うらほら留真温泉」はアルカリ性の高い泉質を持ち、良質な温泉として評判。また、子どもの教育や町の活性化に官民一体となって取り組む「うらほらスマイル」が注目されている。

■地名の由来/「オーラボラ」(川尻に大きな葉が生育する所の意)から転訛。

■観光名所/うらほら留真温泉、うらほら森林公園、昆布刈石展望台、豊北原生花園、Uralaa park urahoroなど。

帯広開発建設部の機構

●本部

〒080-8585 帯広市西5条南8丁目 帯広第2地方合同庁舎

総務課	情報公開、職員管理 ☎0155-24-2901
経理課	予算経理、出納、国有財産・物品の管理・処分 ☎0155-24-2902
契約課	入札・契約 ☎0155-24-2903
技術管理課 技術検査官 工事品質管理官	環境・建設副産物、品質確保、技術管理 ☎0155-24-2904
用地課	事業用地の取得 ☎0155-24-2905
公物管理課	公共用財産の管理 ☎0155-24-4102
施設整備課	機械・電気・通信設備の整備・管理、営繕事務 ☎0155-24-4103
治水課 特定治水事業対策官	十勝川水系の河川整備・維持 ☎0155-24-4105
道路計画課 特定道路事業対策官	国道整備・保全の計画 ☎0155-24-4106
道路整備保全課 道路防災推進官	国道整備・保全の実施 ☎0155-24-4104
農業計画課	農業農村整備の計画 ☎0155-24-3192
農業整備課	農業農村整備の実施 ☎0155-24-3191
広報官	広報、意見・要望窓口 ☎0155-24-3193
防災対策官	防災業務 ☎0155-24-3194
地域振興対策室	地域づくりの推進 ☎0155-24-3195
道路設計管理官	国道整備・保全の設計 ☎0155-24-1542
道路施工保全官	国道整備・保全の実施 ☎0155-25-1250(帯広道路) ☎0155-24-3196(広尾道路) ☎0156-25-2601(足寄道路)
土地改良情報対策官	「わが村は美しくー北海道」運動他 ☎0155-24-3192

表紙の写真

- 世界で唯一のばんえい競馬(帯広市)
- 大空に打ち上がる熱気球(上士幌町)
- 大津海岸に輝くジュエリーアイス(豊頃町)
- 打上げに成功した観測ロケット「宇宙品質にシフト MOMO3号機」(インターラテクノロジズ・大樹町)

●事務所

■帯広河川事務所 〒089-0536 中川郡幕別町内西町73番地6
☎0155-25-1294

十勝川、札内川、音更川等の整備、維持及び管理
十勝ダム、札内川ダムの維持管理及び当該ダムに係る河川管理

●十勝ダム管理支所 〒081-0154 上川郡新得町字屈足トムラウシ
☎0156-65-3121

●札内川ダム管理支所 〒089-1374 河西郡中札内村南札内73番地2
☎0155-69-4666

■池田河川事務所 〒083-0032 中川郡池田町字利別東町
☎0155-57-2661

十勝川、利別川、猿別川等の整備、維持及び管理

■帯広道路事務所 〒089-0536 中川郡幕別町内西町73番地6
☎0155-25-1250

一般国道38・236(帯広・広尾自動車道)・241・274号の整備、維持修繕及びその他管理

■広尾道路事務所 〒089-2624 広尾郡広尾町並木通東2丁目5番地
☎0155-82-3148

一般国道236・336号の整備、維持修繕及びその他の管理

■足寄道路事務所 〒089-3718 足寄郡足寄町栄町1丁目43番地
☎0156-25-2601

一般国道241・242・273・274号・北海道横断自動車道(足寄~陸別)の整備、維持修繕及びその他管理

■帯広農業事務所 〒080-8585 帯広市西5条南8丁目帯広第2地方合同庁舎
☎0155-24-3196

芽室川西地区及び新川二期地区、札内川地区の農業農村整備事業
に係る工事

●事業所

■鹿追地域農業開発事業所 〒081-0212 河東郡鹿追町泉町1丁目
☎0156-66-2101

上士幌北地区及び富秋士幌川下流地区的農業農村整備事業に係る工事

電話番号は帯広開発建設部HPで確認いただけます

<http://www.hkd.mlit.go.jp/ob/index.html>

トップページ下の「ダイヤルイン案内」をクリック

